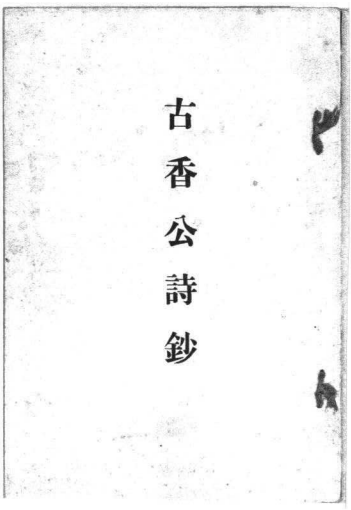


秋月種樹 種樹 書家、漢詩人。天保四年十月十七日江戸麻布高銅藩  
 邸生れ、明治二十七年十月十七日歿（八三—九〇）。藩主種任種任の三男。  
 幼名政太郎、通稱左京亮。號三十六灣外史、千歳亭居士、千歳叟、古  
 香、松溪、樂山、水壺、縮堂、雲烟外史等。少時鹽谷岩陰岩陰の學ぶ。文  
 才二年昌平坂學問所奉行、翌年兄種殷種殷の世子となり、若年寄に任じ、  
 また將軍徳川家茂家茂の侍讀となりた。維新後は 明治天皇の侍讀を拜命、  
 内國事務局參與、公議所議長、大學大監等を歴任。明治五年歐米の赴  
 き、のち元老院議員、貴族院議員を務めた。平生漢詩を能くし、書は  
 獨有の風ふうに達して繪畫にも秀れた。

著書の、偶評偶評、南洲手抄言志録南洲手抄言志録（明治二十一年五月十七日研學會版）、  
 博聞本社版の二種。のち、山田濟齋偶評譯及輯山田濟齋偶評譯及輯、西郷南洲先生手抄言  
 志録西郷南洲先生手抄言志録（昭和七年十月二十日埼玉縣教育會）、古香公詩鈔古香公詩鈔（大正二  
 年二月二十八日健友社）等。



古香公詩鈔